

はらっぱ

令和6年12月23日
山形市立南沼原小学校
学校だより 第8号
文責：校長 石澤 友章



充実の82日間 ～第2節の終了に感謝～

例年より少し長い夏休みがあけた8月下旬はまだまだ暑い日が続いていました。そんな中にスタートした82日間の第2節も明日で終わり、2024年も幕を閉じようとしています。去る12日に行った学習参観には、たくさんの方にご来校いただきました。学年によっては、自分たちの成長の喜び

や周りの方への感謝の心を伝えたり、自分たちで取り組んできたことや調べたことを聞いてもらったりする中で、子どもたちの着実な成長を感じていただけたことと思います。子どもたちの張り切りぶりを見ていると、やはり自分の大切な人に認めてもらえることは何よりも励みになるのだと改めて感じます。保護者の皆様、地域の皆様にはいつも学校を支えていただきました。引き続き、第3節もよろしくお願いたします。そして、よいお年をお迎えください。



4年生 体育館での「10才を祝う会」

大人も 子どもも いのちをまなぶ

～PTAはらっぱ授業 #防災～

本校の特色あるPTA活動の中に「はらっぱ授業」というものがあります。これは、PTA三役の方が中心となって企画する児童向けの学習会です。今年度は「防災」をテーマにして、村山総合支庁建設部と日本技術士会山形県支部の方々を講師に招いて、11

月26日(火)に上学年と下学年に分けて行われました。下学年の子どもたちには、「いのちを守る水といのちを脅かす水」として、生命を維持する水の役割の大切さと、災害に結び付くこともある水の恐ろしさについて考えさせてくださいました。上学年の子どもたちには実際に起きたがけ崩れの映像や、模型を使った地滑りの仕組みの解説など、専門的な知識を交えながら子どもたちの興味関心に合わせて防災意識を高めてくださいました。どちらも、質疑応答の時間には積極的に発言する姿が見られたことから、子どもたちが自分ごととして学んだことが感じられ嬉しくなりました。

～PTA研修会 #子どもと性を語るには～

12日の学習参観後に「大人のはらっぱ授業」と言える「PTA研修会」が行われました。講師にさとこ女性クリニックの井上聡子先生を招き「子どもと性を語るには？」をテーマにお話をいただきました。改めて「性」について考えたり、そのことを子どもと語ったりすることは少し覚悟を必要とするものですが、今回の聡子先生のお話はそうした懸念や心配事を払拭してくれるものでした。お話を聞いて私は「性を学ぶことは、多様性(=人権)を守ること」という考えを根っこにして、何気ない日常生活の中でしっかりと大人が子どもと向き合い、共に考えていく姿勢を持つことの大切さを感じました。参加した皆様からは「親同士でもなかなか話題にできないことで、とても有意義だった」との声を多数いただいております。企画してくださったPTAの皆様、誠にありがとうございました。



…お寄せいただいた感想より みなさんと共有したいフリースを紹介します…

- ・子どもから気軽に相談してもらえるような関係づくり
- ・性に関する絵本を気軽に手に取れるような環境づくり
- ・性について子どもに聞かれたら科学的に説明する大切さ
- ・子どもだけでなく、大人も（知識や考え方を）アップデートすること
- ・大人が思い切り人生を楽しんだり、責任をもって仕事に打ち込んだりする姿を子どもに見せること
- ・子ども自身で立とうとする時期を逃さずに、親も子離れすること

立場に応じた姿 立場が人を育てる ～はらっぱ祭りの成功に～

なかよし委員会が企画したイベント「はらっぱ祭り」が2週にわたって開催されました。たてわり班による異学年交流は**学校経営方針その5:多様な交流活動を通して、人との「よいよいかかわり方」を学ぶ場を提供していく**を具現化する方策の一つとして特に力を入れているものです。お祭り開催のために、各班で材料を持ち寄って「ボウリング」「まとあて」などのお祭り屋台を開きました。子どもたちが力を合わせて準備したり、遊びを楽しんだりする様子を見るにつけ、高学年の優しいふるまいと素直に応じる下学年の姿にホッとします。おそらく教室とも違う、異年齢集団での「自分の立場に応じた」振る舞いが自然にできているからだと思います。また、班長には班長としての責任感があり、下学年は少し甘えたりしながらも自分の役割を果たす姿を見ると「立場が人を育て」てくれているようにも思います。一見甘えているように見える低学年にとっても、自分を受け入れて世話をしてくれた先輩の姿が、いずれ自分が先輩になった時の一つのモデルとなり、大切な財産として心に積み重なっていくことでしょう。かつては公園で遊ぶ仲間の中に、こうした異年齢集団ならではの学びがあったのだと思います。なかよし班がそうした学びを継承する場になることを願ってやみません。



冬休みは子どもの自律をうながすチャンス

冬休みは、年末年始ならではの生活を味わう貴重な機会です。また「自分で決めて、実行する」を実践し、自律した生活習慣を身につけるチャンスですので、夏休み前にも掲載したことを改めて確認したいと思います。どうぞよい冬休みとなりますように。

自律した生活のために、おうちの皆様と考えていただきたいこと

◇時間や行動を自分でコントロールする力を高める

- ・就寝、起床時刻を安定させる
 - ・メディアに触れる時間の約束をおうちの人と一緒に決める
 - ・計画する→実行する→振り返る のサイクルを大切にする
- 学年が上がるにつれて「口や手を出す」から「本人に考えさせる」かかわり方を

◇健康な心身を整える自己調整力を高める

- ・バランスのとれた食事、間食のしすぎに気をつける
- ・適度な運動やお手伝いなどで体を動かす